

令和6年度 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
契約監視委員会審議概要

1. 日 時 令和6年5月29日（水） 13：30～15：00
2. 場 所 一般社団法人日本航空協会 航空会館
3. 出席委員 鈴木 裕子委員長 公認会計士
寺門 雅史委員 一般社団法人 日本造船工業会 常務理事
皆川 勝委員 東京都市大学 名誉教授
西村 光治委員 弁護士法人 松尾綜合法律事務所（弁護士）
田辺 佳子委員 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 監事
日向 弘基委員 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 監事
4. 審議事項 (1) 令和5年度 各研究所の契約に関する点検について
(2) 令和5年度 各研究所の調達等合理化計画に対する自己評価に関する点検について
(3) 令和6年度 調達等合理化計画に関する点検について
(4) その他
5. 審議概要
 - ◆審議結果
 - (1) 令和5年度 各研究所の契約に関する点検について
 - ・競争性のない随意契約について
随意契約の理由の妥当性などについて審議され、内容が妥当であることが確認された。
 - ・一者応札、一者応募について
一者応札・一者応募の改善方策について審議され、内容が妥当であることが確認された。
 - (2) 令和5年度 各研究所の調達等合理化計画に対する自己評価に関する点検について
 - ・契約業務に対する取組については、仕様内容の見直し、公告期間の十分な確保、調達情報の早期提供等の取組を行っている旨、内容が妥当であることが確認された。
 - ・調達に関するガバナンスの徹底について、引き続き現状の取組の継続や、国や

他機関からの情報収集に努める旨、内容が妥当であることが確認された。

(3) 令和6年度 調達等合理化計画に関する点検について

- ・令和6年度の調達等合理化計画について、内容が妥当であることが確認された。

◆審議内容（委員からの主な意見）

○令和6年度調達等合理化計画に関する点検に対して

- ・計画案中の1. 調達の現状と要因の分析（2）の記載内容について複数の取り組みによる成果について「等」と纏めるのは理解できるが、表現の仕方が一部、令和5年度の自己評価結果の内容に関する委員のコメントと一致していないと思われる。